

「中小企業総合相談所」開設で

よりきめ細やかに中小企業の経営を支援

平成23年度事業報告・収支決算書を承認



林会頭

当所は、6月29日(金)第156回通常議員総会を開催し、平成23年度事業報告、決算報告を承認しました。内容は次の通りです。

1 中小企業施策推進や地域振興のための意見活動の展開

商工業の総合的な振興を図るため、国や県市等に対し積極的な提言や陳情要望を行うとともに、各種会議や懇談会を開催し、幅広い意見活動を展開した。

- ① 広島県内商工会議所会頭会議において採択された「震災復興下における中小企業の活力強化・地域活性化に関する決議」をもとに、中小企業の活力強化、地域経済の活性化のために、デフレ脱却と力強い地域経済成長の実現、成長重視の平成24年度予算編成と中小企業への支援、企業の成長力強化に資する税制の実現、中小企業の事業環境整備に関する支援などに早速に取り組むよう地元選出国會議員や関係各々方面へ強く要望した。
- ② 平成24年度税制改正に関しては日本商工会議所などと協調して要望活動を行った結果、中小企業関係の租税特別措置の拡充・延長、法人税率および中小法人の軽減税率の引き下げなど多大な成果を得た。
- ③ 当所都市づくり委員会において、福山

市の更なる活性化、住みやすく魅力ある地方拠点都市の実現に向けた、都市基盤整備等に関する考えを取り纏め、福山市長ならびに福山市議会議長に「50万都市にふさわしい都市基盤整備の推進について」を提言し、早期取り組みを要請した。

- ④ 福山市、福山市議会トップとの経済行政懇談会を定期的に開催し、地域産業の振興策、福山駅前整備計画、福山市立大学の運営などについて意見交換を行い、中心市街地の活性化対策、活力ある地域経済社会の実現など、幅広い分野にわたる提言や要望を行った。

2 高次都市機能の獲得と活力ある都市基盤の整備

地方拠点都市・中核市にふさわしい活力ある地域経済社会の実現のため、高次都市機能の集積、地域産業の高度化等魅力ある都市圏の形成を推進するとともに、総合交通体系の整備や港湾機能の整備について、関係機関に対し積極的な働きかけを行った。

- ① 空港については、かねてより広島県、広島・尾道・三原商工会議所等とともに広島・釜山間の定期便の就航を要請していたが、平成24年3月にはチャーター便による臨時就航が実現した。また、エアポートセールス訪問団に加わりアジア航空等を訪問するなど、広島空港の機能強化対策や利用促進について協力した。あわせて、広島県・空港振興協議会にも参画した。
- ② 道路網については、国道2号バイパス(福山道路)、福山西環状線の建設促進や主要地方道府中・松永線、松永港・本郷線、

神辺水呑線等の早期整備等について、それぞれ工事の進捗を強く促した。また、西瀬戸自動車道(瀬戸内しまなみ海道)のアクセス道路と尾道・福山自動車道の整備促進を、中国横断自動車道(尾道・松江線)については早期の全線開通を要望した。

- ③ 鉄道については、開業13年を迎えた井原鉄道(株)の経営に参画し、利用者増加策の支援を行った。また、九州新幹線「さくら」の全便福山駅停車が実現したこともあり、鹿児島県商工会議所連合会主催イベントに積極的に協力するなど今後の利用促進に向けた取り組みを行った。

- ④ 福山港については、これまでの要望活動が実り、水島港と一体となり鉄鉱石の「国際バルク戦略港湾」に選定された。また、国際コンテナターミナル第2バースの稼働に伴い、福山港の荷役作業をより効率化するための共同化支援を行った。東部港湾の利用促進を目的に開催しているポートセミナーでは、クルージングシップ銀河をチャーターし、三原港・尾道水道・福山港の行程で海上からの港湾施設の見学を行うとともに観光関連業者を招待し、各市の観光宣伝も行った。

- ⑤ 松永港については、昨年に引き続き利用促進懇談会を開催し、国・県に対し、航路・泊地の浚渫や機械地区の施設利用料の軽減など利用しやすい港に向けて継続整備を要望した。
- ⑥ 福山市の設置する福山市都市計画審議会、福山都市圏交通円滑化総合計画推進委員会などに参画し、都市基盤整備を推進するとともに、市内循環バスまわろースの利用を



都市基盤整備の推進について要望



第156回通常議員総会



びんご・ものづくり MOT セミナー



第2回ビジネス交流フェア(商談)



供用開始した福山港国際コンテナターミナル第2バース

3 新たな成長と発展に向けての地域産業の振興

促進するため、沿線の情報を掲載したガイドマップ「てくてくガイドブック」の作成に協力するなどまわろーズ活用事業を推進した。

地域活性化の基盤である産業の振興については、中心市街地の活性化に向けた福山市中心市街地活性化推進事業を実施するとともに新規開業・ベンチャー企業の支援、流通の近代化推進など、積極的な取り組みを行った。

① 中心市街地活性化に向けた取り組みとして、伏見町地区第一種市街地再開発事業を積極的に支援し、新しい基本計画を基に、再開発事業の実現に向けての協議・地権者説明会等の支援を行った。「中心市街地で活躍する人材発掘・育成支援事業」では、タウンマネージャーを中心にまちづくり講演会やワークショップを開催することで、街なかで活躍する人材の発掘に努めた。また、TMO構想に基づいた「ふくふく」の運営をはじめ、継続的賑わい創出イベントとして商店街7カ所で毎週土曜日に開催している「毎土市場」の運営支援を行った。また、中心市街地の新しい賑わいを創出し、回遊性を高めるイベントとして平成22年度より行っている「ふくやま手しごと自慢市」を引き続き開催した。中心市街地における都市基盤整備が概ね完了することを受け、福山市が設置した「福山駅周辺地区中心市街地の活性化に関する検討委員会」に加わり、今後の新たな中心市街地の活性化に向けた基本方針の策定に協力した。

② 工業の振興については、各種協同組合との連携による展示会、コンクール、講演・講習会等を開催した。また、備後エリアの企業が一堂に集まり、企業間の人材交流や製品・技術交流、大学等研究機関の発表を行う中で、新しいビジネスチャンスの拡大を図るきっかけづくりの場として「第2回ビジネス交流フェア」を開催した。このフェアには、特別協賛として「ものづくりの町」東大阪の中小企業13社の参加もあり、地域を超えた積極的な交流が行われた。さらに、日本政策投資銀行と共同で「びんご・ものづくりMOTセミナー」を開催し、MOT理論（技術を経営に活かす理論）を学習するなど企業の次世代幹部候補生の育成を図った。福山産業教育振興会では、企業見学会や研究発表会を開催するとともに、福山職業能力開発短期大学校の支援を通じ、地域企業の技術力向上を推進した。また、広島大学、福山市立大学、福山大学、福山市立女子短期大学、ポリテクカレッジ福山等との連携により産学交流事業を実施するとともに、近隣大学から講師を招き隔月でローズサロンを開催し、大学の持つシーズと地域産業界のニーズのマッチングに努めた。その他、地域の児童生徒に科学的で独創的な創作活動を通して、発明・工夫の楽しさを知ってもらうことで創造性豊かな人間形成を推進する事を目的とする、福山少年少女発明クラブの活動支援を行った。

③ 映画「少女たちの羅針盤」全国公開に伴い同映画の成功のため、映画「少女たちの羅針盤」福山上映実行委員会に参画し、PR活動を推進した。鯛網実行委員会に加わり「鯛の浦観光鯛網」の誘客に積極的に協力した。また、福山市・福山市観光協会とともに組織した実行委員会を核に、ホスピタリティの向上と福山ファンの増加、観光に係わる人材の育成・発掘を目的に「福山知つとる検定」を実施しているが、5年目を迎え、テキストを使った講習会が開催されるなど広がりを見せ、受験者の増加に努めるとともに東京会場を設け、中央での都市宣伝にも努めた。

④ 環境対策事業では、広島県環境保全公社、環境にやさしいまち福山実行委員会、エコでえーこと実行委員会などに参画し、「環境保全講演会」、「エコでえーことキャンペーン」などに協力するとともに、全市一斉清掃への参加を会員企業に呼び掛け、環境問題に対する啓発活動を推進した。また、会員企業を対象にエコアクション21認証取得による環境経営への取り組みを学ばせセミナーを開催した。

⑤ 商工技術検定事業については、企業活動に役立つ人材の育成のため、日本商工会議所との共催で「PC検定」・「簿記検定」・「販売士検定」や東京商工会議所との共催による「福祉社環境コーディネーター検定」・「環境社会検定試験」の施行を受託し、春期と秋期に実施した。

⑥ 当所に設置している広島県中小企業知財支援センター福山サテライトについては、常駐の知財活用アドバイザーによる特許技術の商品化や既存技術の応用などについて、指導・相談等を行い技術開発や事業化支援



福山商工会議所パソコン教室



中小企業総合相談所



JAPAN ブランド事業海外市場調査

を行った。さらに、当地域中小企業の知的財産管理担当者を対象とした「知的財産管理研究会」の運営支援を行い、各企業の知財担当者のスキルアップを図った。

⑦ 農林水産業の振興については、国内自給率の低下や耕作放棄地の拡大が問題視される中、福山市地産地消推進協議会に参画し、「味わい満載 福山産・福山発 旬の味わい」をテーマに開催された「産直市フェスティバル」に協力した他、特産品（くわい）を使った新商品開発に関する意見交換会を開催した。

⑧ 福山の特産品である保命酒とその関連商品の魅力を高め、世界に通用するブランド力の確立を目的とする、中小企業海外展開支援事業（JAPANブランド事業）の戦略策定事業に取り組み、海外市場のニーズ把握のためフランス（パリ）、韓国（ソウル）を訪問し、試飲会や試食会、現地バイヤー等に対する聞き取りを行うなどの調査事業に取り組んだ。

4 中小企業・小規模企業の基盤の強化と創業・経営革新支援

日常的な相談指導を行う経営指導員を配置した経営課と、さまざまな分野の専門家による相談指導を行っていた福山地域中小企業支援センターを統合した中小企業総合相談所を開設し、窓口相談や出前相談の実施、セミナーの開催など、ワンストップ機能を生かしたきめ細かなサービスの提供を行った。

福山地域中小企業支援センター事業については、地域経済発展の基盤である中小企業の

経営の安定と発展を支援するため、税理士や中小企業診断士等の専門家をコーディネーターとして委嘱し、中小企業者の諸課題をワンストップ型の相談体制で支援し、来所が難しい方を対象にした「移動相談会」および「アドバイザー派遣」も積極的に展開した。また、創業を目指す人を対象とした「創業塾」等を開催した。さらに、総合相談所内に開設されている広島大学福山サテライトオフィスでは、広島大学の産学・地域連携センターが、学術相談や技術指導等の窓口相談に対応するとともに、支援センターと連携して広島大学出前講座等の事業を展開した。

中小企業の情報化支援では、情報化に関するセミナーとして、「スマートフォン・ビジネス活用フォーラム」「電子タグ(RFID)利活用研究フォーラム」「情報セキュリティセミナー」「技術コース標準編Ⅰ、技術コース標準編Ⅱ」「BCP(事業継続計画)セミナー」などを開催するとともに、IT活用能力のスキルアップのため、パソコン教室を設置し、パソコン入門講座からワード講座、エクセル講座、PC検定対策講座など幅広い内容で教室を運営した。

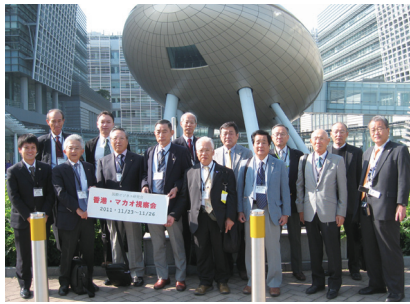
また、急速に拡大する電子商取引市場に当所の会員事業所が容易に参加する機会を確保するため、全国の商工会議所や公的団体が共同で運営する事業所データベース・ザ・ビジネスモールに参加し、当所会員事業所が「商取引支援サービス」や「ビジネス支援サービス」を利用することでビジネスチャンスを広げることができるように努めた。さらに、国や地方自治体で進めている電子入札に対応できるように電子証明書などを発行する電子認証局である日本

商工会議所ならびに(株)帝国データバンク、セコムトラストシステムズ(株)の申請の取次業務を行い、PRなど啓発活動を推進した。

小規模事業者対策については、小規模事業者の金融・税務・経営・労働等に対する巡回・窓口相談を行うとともに、移動経営相談会等を開催したほか、各種研修会・講演会・講習会を開催し、小規模事業者の経営資源の向上に努めた。小規模事業者経営改善資金(マル経)融資は、推薦件数で43件(対前年比104.9%)、金額では2億2,170万円(対前年比131.6%)であった。また、市内に所在する9金融機関と提携し会員限定の優遇された条件で融資が受けられる融資制度「福山商工会議所会員向け提携ローン」や、広島県信用保証協会の「リーガ保証制度」およびその他制度融資等、平成23年度全体での金融斡旋の結果、貸付件数で53件、貸付総額では2億6,770万円となっており、中小企業者の事業資金調達に寄与した。

5 調査・広報活動の積極展開

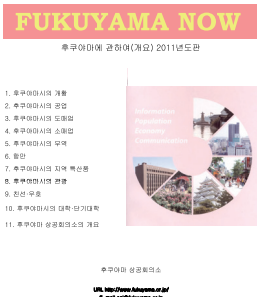
調査活動については、「景気観測調査(DI方式)」、「商工会議所LBO調査」、「流動客調査」、「駐車場利用状況調査」などの定期調査、「東日本大震災の影響に関する緊急アンケート調査」などの臨時調査を実施し、資料の収集、作成を行い、会議所事業にも反映させた。広報活動では、会員に情報提供し活用していただくため、機関誌「商工ふくやま」を発行するとともにホームページやメールマガジン、ブログ方式の議員向け「FCCエライナー」により、地域に根ざしたタイムリーな



国際ビジネス研究会
「香港・マカオ視察会」



浦項商工會議所との
「友好親善及び交流増進協約書調印



Fukuyama Now 平成23年版
「韓国語版」

情報を発信した。特にホームページでは、今年度初めて当所の主要事業等の動画をYouTubeにアップし、よりわかりやすい広報に努めた。さらに、福山市の統計資料「FUKUYAMA NOW平成23年版」の英語、中国語、韓国語版を作成し、ホームページにアップして、広く調査資料の提供を行った。

また、コミュニティFM放送局(株)エフエムふくやま・レディオBINGOの運営にも協力し、毎週水曜日にラジオ番組「ハロー！商工会議所」を提供した。

6 国際経済交流の推進と国際ビジネス活動支援

昨年7月、福山市、市議会と合同で訪問団を結成して、韓国・浦項市を訪問し、浦項市・浦項市議会・浦項商工會議所と今後の経済活動などについて意見交換を行った。

さらに、これまでの活動が実り浦項商工會議所と当所では、ビジネス分野を中心とした経済交流の増進を図るため、『友好親善及び交流増進協約書』の調印を11月に行った。これにより、経済・貿易・文化・市場に関する情報交換、国家間・地域間・企業間の貿易と投資拡大の奨励、経済と文化の交流に双方が尽力し、両地域経済の発展のため、友好親善と交流増進を図って行くこととなった。

また、当所が支援する国際ビジネス研究会では、アジアの主要なビジネスハブであり、中国市場にアクセスする上で重要な拠点と言われている香港・マカオを視察し、現地経済事情の調査やビジネスチャンスの発掘を行った。輸出入時の関税の減免措置が図れる経済

連携協定(EPA)に基づくメキシコ・マレーシア・タイ・チリ・アセアンなどに向けての特定原産地証明を発給(全国21商工会議所で発給)し、地域企業の輸出促進を支援した。

7 雇用対策の充実と人材育成事業の強化

人口減少社会や高齢化が進む中、一昨年より続く厳しい経済情勢を背景に、当所管内の雇用情勢は、有効求人倍率が3月には1.00倍まで回復したとはいえ、予断を許さない状況が続いた。

こうした中、政府の成長力底上げ戦略の環境として、正社員経験が少なく、そのためキャリアの形成機会に恵まれない人を対象として「職業能力形成システム(ジョブ・カード制度)」の普及を目的に、広島県地域ジョブ・カードサポートセンターを設置し、雇用のミスマッチを解消するとともに人材の定着化を推進した。

また、当地域内に優れた人材を誘引し、安定した雇用機会の確保を支援するため、福山市地方雇用対策協議会等と連携し、新規学卒者やU・イターン就職者のための「就職ガイド」や「U・イターン就職・総合就職相談会」、「企業と学校の交流会」などに参画した。従業員教育としては、「新入社員セミナー」や「接客セミナー」「管理者研修」「若手・中堅営業社員強化研修」など、幅広いテーマで実施し、従業員の資質向上に努めた。さらに、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、育成される環境の整備を進めるため、当所が次世代育成支援対策推進センターとして厚生労

働省から指定を受けていることに伴い、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画策定に向けて広報・啓発活動に努めた。その他、福山地域産業保健センター運営協議会、福山市男女共同参画センター、福山市府中地域保健対策協議会や福山・府中障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク会議などの運営にも参画した。

8 地域文化の進展と地域貢献事業の支援

ふくやま芸術文化ホール(リーデンローズ)、ふくやま美術館、ふくやま書道美術館、広島県立歴史博物館、ふくやま文学館、福山明るいまちづくり協議会、福山地域文化振興協議会、ひろしま文化振興財団などに参画した。

また、福山文化連盟、福山ばら会、島田莊司選ばらのまち福山ミステリー文学新人賞実行委員会などの団体や事業を支援するとともに、全国小・中学生箏曲コンクール、音楽コンクール、各種書道展など地域の伝統文化・芸能、芸術活動にかかる多彩な行事を支援し、豊かな住みやすい文化都市づくりを促進した。福山葦陽ライオンズクラブ、福山青年会議所とともに組織した福山城アートプロジェクト実行委員会を核に、福山城を中心に広がる文化ゾーン一帯で国内外から15組のアーティストを招き現代アートをテーマにした「ふくやまアート・ウォーク2011」を開催し、都市感度の向上と地域文化の醸成に努めた。また、新たに同実行委員会に参加した福山食ブランド創出市民会議とも一体となり、当市の伝統料理「うずみ」をテーマにした「福山グル



創業永年会員優良従業員表彰式



ふれあいランニング教室



ふくやまアート・ウォーク2011

当地域の発展と社会環境の変化に伴い、多様化する当所の使命と役割を果たすため、新たに地域貢献特別委員会を設置するなど部会や委員会活動を積極的に展開し、当面する課題や平成23年度事業に向けての取り組み等に

9 当所組織運営基盤の強化と会員サービスの充実

平成25年に広島市で開催される全国菓子大博覧会に備え、「春・福山創作和菓子展」を開催し、当地域の菓子業者の感性と技術のレベルアップを図ると同時に、国・登録有形文化財に登録された福寿会館が実施する自主事業「くつろぎのひな祭り」と連携し地域文化を発信することで、観光振興としての可能性も確認した。スポーツ教室を通じて、次代を担う青少年の健全な育成を支援することを目的に、当所女性会ではJFEスチール(株)西日本製鉄所競走部の協力を得て「ふれあいランニング教室」を行い、青年部では、(株)広島東洋カープの現役選手4名を招いての「青空野球塾」を開催した。

メフェスタ2011」を開催し普及に努めた。加えて、夜の福山城を映像と飲食で楽しむ「福山幸盛ナイト」、時代衣装に扮して「うずみ」をPRする時代行列「千両うずみ」、事業実施期間中に中心市街地での回遊性を高めるため、中心部商店街全域を会場にした宝探しゲーム「The宝探しin福のまち福山」を実施した。さらに、外国人観光客を誘致する仕掛けとして、かつて朝鮮通信使の宿泊所となり、「日東第一形勝」と称される名勝・鞆の浦全域を会場にした日韓合同による国際アートフェスティバル実現に向けた調査・研究を行った。

ついで検討を行い、地域の要請に応えようと、部会、委員会の意見を反映して当所事業の充実に努めた。

また、会員と会議所との連帯感を高め会員意識の高揚を図るため、「創業永年会員・優良従業員表彰式並びにふれあい寄席」「会員親睦ボウリング大会・ゴルフ大会」を開催した。さらに、会員向け福利厚生事業では、充実した独自給付を持つ「福の山共済」をはじめとする各種共済制度の普及、「生活習慣病

予防健診」や「創業周年会員章カード(駐車場利用券付)」の発行や、会員事業所従業員のスキルアップに資するため会員割引料金で利用できる「通信教育」を提供するなど各種会員サービス事業を実施した。

当所ビルについては、建物および設備機器の保守・整備や必要箇所の補修を行うとともに、テナント懇談会を開催し、当所ビル利用者の生の声を聞く中で安心・安全・快適な居住環境の維持・向上と機能整備に努めた。

平成23年度 収支決算額総括表

〔自 平成23年4月1日〕
〔至 平成24年3月31日〕

■ 公益事業会計

(単位: 円)

会 計 区 分	収入決算額	支出決算額	差引残額
一 般 会 計	192,955,443	171,717,963	21,237,480
特定商工業者法定台帳関係費特別会計	8,751,860	8,751,860	0
商工技術検定特別会計	15,630,321	15,543,899	86,422
中小企業振興事業特別会計	138,299,661	138,299,661	0
特定退職金共済事業特別会計	5,555,849	5,226,112	329,737
退職給与資金積立金特別会計	76,382,008	12,667,347	63,714,661
パソコン教室運営事業特別会計	21,442,538	21,409,119	33,419
運営基金積立金特別会計	148,798,875	7,200,000	141,598,875
合 計	607,816,555	380,815,961	227,000,594

■ 収益事業会計

(単位: 円)

会 計 区 分	収入(利益)決算額	支出(費用)決算額	剰余金および欠損金(△)
建 物 管 理 特 別 会 計	192,355,980	208,725,059	△ 16,369,079
共 済 事 業 特 別 会 計	49,016,537	48,749,748	266,789
合 計	241,372,517	257,474,807	△ 16,102,290

主要 4 会計収支決算 (概要)

■一般会計 (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
会 費	91,111,000	一般事業費	31,869,723
加 入 金	628,000	調査広報費	18,170,694
事 業 収 入	21,628,744	表彰事業費	8,413,291
交 付 金	12,135,618	委託・補助事業費	9,056,847
負 担 金	330,000	特別事業費	14,348,995
委 託 金	9,172,302	給 与 費	33,233,947
寄 付 金	0	福利厚生費	9,933,313
雑 収 入	2,231,544	旅 費	942,425
繰 入 金	23,700,000	事 務 局 費	3,833,104
繰 越 金	32,018,235	施設管理費	10,730,383
		会 議 費	2,549,476
		渉 外 費	858,823
		公課分担金	6,392,445
		退 職 給 与	2,173,662
		特別会計繰出金	18,889,685
		雑 費	321,150
合 計	192,955,443	合 計	171,717,963

収入・支出比較表 (単位：円)

収入決算額	支出決算額	差 引 残 額	備 考
192,955,443	171,717,963	21,237,480	次年度へ繰越

■特定商工業者法定台帳関係費特別会計 (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
本年度負担金	8,744,000	事 業 費	3,072,699
過年度負担金	0	給 与 費	4,425,224
雑 収 入	283	福利厚生費	691,363
繰 入 金	7,577	事 務 局 費	268,830
		退 職 給 与	293,744
合 計	8,751,860	合 計	8,751,860

収入・支出比較表 (単位：円)

収入決算額	支出決算額	差 引 残 額
8,751,860	8,751,860	0

■商工技術検定特別会計 (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
検 定 料	11,638,200	検定事業費	5,278,921
助 成 金	1,259,482	商工技術振興費	744,552
雑 収 入	803,423	給 与 費	4,434,632
繰 越 金	1,929,216	福利厚生費	724,297
		旅 費	113,520
		事 務 局 費	161,590
		会 議 費	5,000
		公 課	970,664
		退 職 給 与	292,408
		繰 出 金	2,800,000
		雑 費	18,315
合 計	15,630,321	合 計	15,543,899

収入・支出比較表 (単位：円)

収入決算額	支出決算額	差 引 残 額	備 考
15,630,321	15,543,899	86,422	次年度へ繰越

■中小企業振興事業特別会計 (単位：円)

収 入 の 部		支 出 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
補 助 金	116,673,668	指導事業費	10,664,175
負 担 金	242,000	経営指導推進費	0
一 般 会 計 繰 入 金	18,882,108	小規模事業施策普及費	816,600
雑 収 入	2,501,885	特別研究指導費	840,000
		経営安定特別相談事業費	364,165
		中小企業支援センター事業費	8,887,417
		給 与 費	93,933,379
		福利厚生費	14,093,495
		旅 費	1,086,410
		事 務 費	1,377,077
		会 議 費	203,000
		公 租 公 課	0
		退 職 給 与	5,993,232
		雑 費	40,711
合 計	138,299,661	合 計	138,299,661

収入・支出比較表 (単位：円)

収入決算額	支出決算額	差 引 残 額
138,299,661	138,299,661	0